

招待講演

3E08

繊維業界におけるサステナブルについての取り組み

(一財)ニッセンケン品質評価センター
片岡和洋

1. はじめに

昨今、「サステナブル(Sustainable)」という言葉がよく取り上げられています。本来は、「持続可能な開発 (Sustainable Development)」として、「環境と開発に関する世界委員会」(委員長：ブルントラント・ノルウェー首相(当時))が1987年に公表した報告書「Our Common Future」の中心的な考え方として取り上げられた概念で「将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発」ということであり、「環境と開発を互いに反するものではなく共存し得るもの」としてとらえ、環境保全を考慮した節度ある開発が重要」という考えです。この考え方が広がっていき、各国・各社で「サステナブル」の取り組みが始まりました。

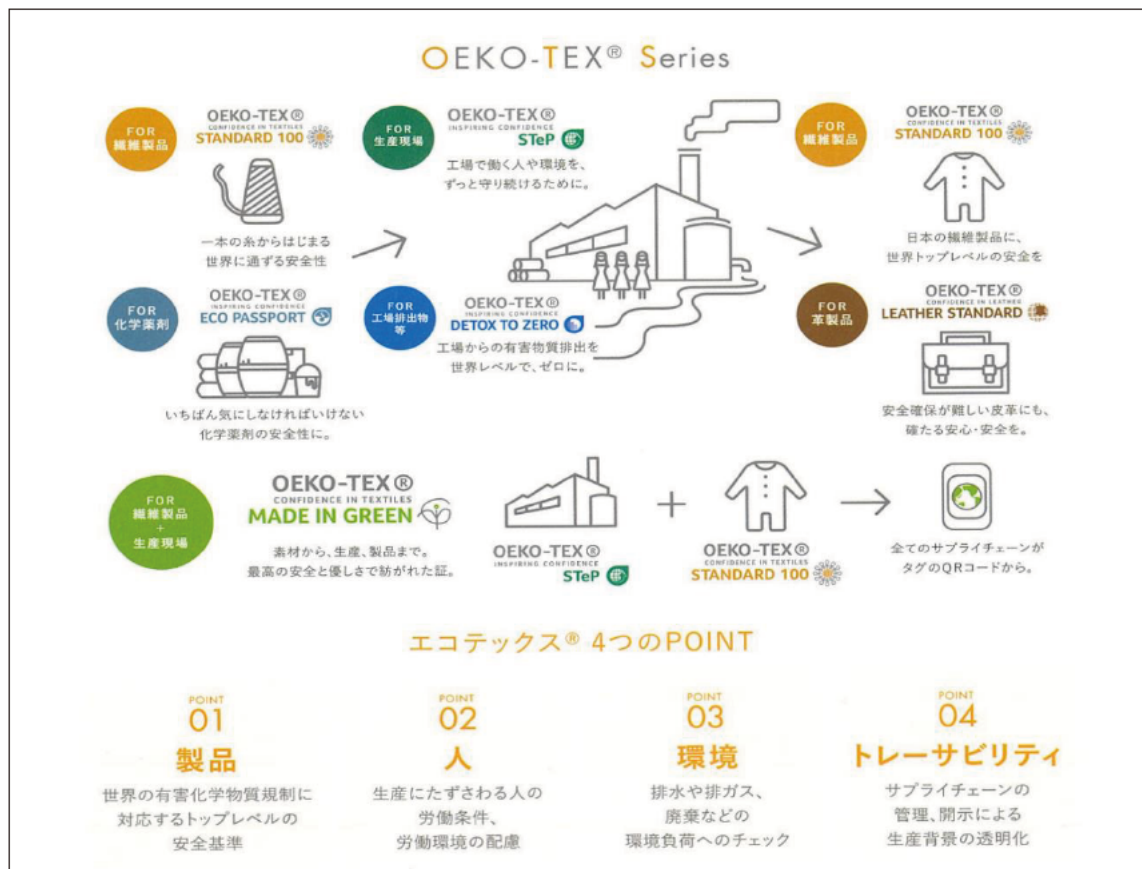
また「アジェンダ 2030」(Agenda2030 : the Sustainable Development Goals／持続可能な開発目標)が2015年9月、国連加盟国(193か国)が参加し、2030年までに極度の貧困、不平等、不正義を無くす、地球を守るための計画が採択されました。この「持続可能な開発目標(以下、SDGs)」は深刻化する環境問題等の「17の目標」と「169のターゲット」に対し、各国が活動し、推進していく内容となっています。



このような状況の中で、「サステナブル」な取り組みの一つの方法として、エコテックス®国際共同体が展開する認証や役割についてご紹介させていただきます。

2. エコテックス®国際共同体の取り組み

繊維産業のバリューチェーン(価値連鎖)において繊維製品の安全性を高め、持続可能な生産を改善し、その透明性を確保することにより信頼性を創造する目的で、1992年にスイス チューリッヒで繊維製品のエコロジー国際共同体であるエコテックス®が発足しました。そして有害化学物質から安心・安全な繊維製品の試験・認証システム「エコテックス®スタンダード 100」をスタートして25年以上経過し、近年では繊維製品を製造する上で必要不可欠な化学薬剤(染料、助剤、仕上加工剤等)そのものの試験・認証システムである「エコテックス®エコパスポート」、生産サイトの環境マネジメントや化学物質管理、従業員の健康・安全等の監査・認証システムである「エコテックス®ステップ」など、エコテックス®国際共同体は繊維業界が抱える課題をクリアにし、現在も絶え間なく繊維業界の安全水準の底上げのために活動しています。



次に各認証について、ご紹介いたします。

(1) STANDARD100 (スタンダード 100)

全ての加工段階における繊維製品の為の試験と認証システム。世界で一番広く浸透している認証であり、1万社以上の企業が保有しています。

認証対象は糸・生地・服飾資材（アクセサリ）・衣類・作業服・タオル・寝具・ベビー用品・化粧綿・雑貨・インテリア等になります。また、原反を問わない染色工程や仕上加工工程が対象であるプロセス認証もあります。

繊維製品に含まれている潜在的な有害物質、例えば残留農薬、ホルマリン、鉛、発がん性染料など約300種以上の有害化学物質を規制しております。



(2) LEATHER STANDARD (レザースタンダード)

全ての加工段階における皮革製品の為の試験と認証システムです。

繊維製品と皮革製品では、生産工程が全く異なるため、防腐剤関連の試験項目を追加

し、皮革製品に合わせた規格を作成、2017年1月からスタートしています。



(3) ECO PASSPORT (エコパスポート)

テキスタイル用化学品、色材、助剤等の為の試験と認証システムです。生産前段階に使われる仕上加工剤、化学薬剤、助剤、染料などが安全

であることが最も重要であると考え、薬剤自体を認証する仕組みを確立した。

2017年9月6日、ZDHCが策定したMRSL（製造時使用制限物質リスト）の適否判定手法として最初に認定されたことでエコテックス®国際共同体があらためて注目されています。



(4) STeP (ステップ)

Sustainable Textile Production の略。繊維製品を生産する工場や企業がいかに持続可能な体制であるかを証明する認証です。

生産工程の持続可能性を評価し、比較ベンチマークを与え、生産工場に持続可能なテキスタイル生産への支援を行います。

6つのモジュール（化学物質管理、環境パフォーマンス、環境マネジメント、企業の社会的責任、品質管理、従業員の安全と衛生）より構成されており、特徴として、各モジュールに関連する外部認証（品質管理 ISO 9000 シリーズ、環境マネジメント ISO 14000 シリーズ等）を取入れていれば、実地監査等で部分的な簡略化が可能になります。

STeP 認証は、ここまで紹介した製品認証と大きく異なり、対象は企業（生産工場）となります。



(5) MADE IN GREEN (メイドイングリーン)

有害化学物質について試験と認証がされ、環境に優しく、公正な労働条件のもとで製造された事を証明する消費者用ラベル。エコテックス®の中で最高峰のラベリングシステムです。

環境や働く人に配慮されたサステナブルな工場（STeP 認証）で作られた、世界トップレベルの安全性が確認された製品（スタンダード 100 認証）で、一本の糸から最後の縫製・加工まで、製造に関わったすべての拠点がラベルの QR コードからチェックできるようになっています。



「MADE IN GREEN」ラベルは以下の事を保証します。

- ・安心安全な製品（300以上の対象有害物質に関する厳しい試験をクリアした素材で作られています）
- ・企業の透明性（排ガスや排水など環境配慮した生産工場、また働く人の安全性も守られています）
- ・サプライチェーンの開示（世界基準での第三者機関による監査・認証は、国内外の取引先への高い信頼性につながります）

つまり、このラベルの普及が、世界中で今求められる環境問題への取り組みや製品中の有害化学物質対策のゴールといえます。

3. おわりに

エコテックス®は、世界最高水準の繊維製品の安全性をはじめ、環境や働く人にも配慮した生産体制がとられているかを厳しくチェックする、人と地球に優しい繊維製品の証です。一本の糸、一滴のインクから、製造工程、トレーサビリティまで、繊維業界におけるサステナブルな取組みについてエコテックス®は貢献できます。

もちろんエコテックス®認証のみがサステナブルな取組みというわけではありません。様々なアプローチの仕方があります。

ただ、この 20 年間で世界の衣料品製造量は 4 倍の 800 億枚の達し、その間に、巨大な衣料品メーカーやファストファッションが現れることで、世界中のライフスタイルは大きく変化しました。その結果、繊維産業が排出する CO₂ の量は、石油産業について第 2 位となっています。

同時に繊維産業に内在する様々な問題が浮き彫りになってきました。

「これらの問題が、どれほど環境・人に負担をかけているか」を、消費者と企業含め社会全体が「想像すること・知ること」が、私たちの地球を守るということの最初の一步だと考えます。

